

～ 三世代で営む農業の発展をめざして～
石田 慎一さん(砥部町)

果樹農家（温室みかん、キウイ等）
砥部町認定農業者
JA えひめ中央砥部支部長 1959 年生まれ



☆経営概況☆

経営面積 170a で果樹経営に取り組んでいます。

栽培品目は、温室みかん 31 a、愛媛果試第 28 号 22a、せとか 8 a、キウイフルーツ 31 a、不知火他 78 a。

家族労働力を基本としていますが、農繁期（摘果、袋掛け、温室みかん全採り）はシルバー人材センターを活用しています。

☆ここがポイント☆

■多品目栽培による周年出荷体制

先祖代々の農家の長男に生まれ、国の研究所「カンキツ研究興津拠点」を修了後直ちに就農し、父が 65 歳になった時に経営移譲を受けました。初めは、温室みかん、極早生みかん、伊予柑を中心とした経営でしたが、年中収入があるように経営品目の組み合わせを変更して**周年出荷体制**をとりました。

■経営改善のコツは、はっきりした業務分担と情報収集

父と息子との三世代で業務分担をはっきりさせ、徐々に施設栽培、温州みかんの面積拡大を図っています。また、**若手農業者を引率**して首都圏の市場視察に行き、バイヤーと直接話をする機会を設けるなど、**積極的に情報収集**をしています。

■経営の記録は我が家の宝

先代の父から作業内容を記録し続けています。過去を見ればいつ頃何をすべきかわかります。作業日誌が我が家の宝であり、**技術伝承の重要な手法**となっています。

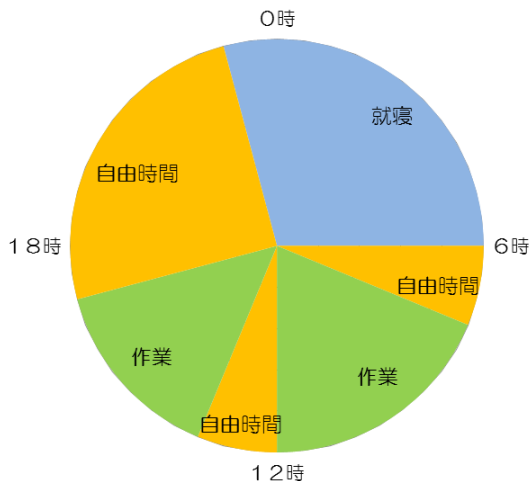


柑橘の剪定作業



柑橘の収穫作業

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

夏時間と冬時間を採用し、終了時刻をしっかりと決め、守っています。年に一度は家族旅行をして、ふれあいの時間を大切にしています。また、整理整頓を心掛け、速やかな行動につながっています。時間のある時は積極的に様々なところから情報収集に取り組んでいます。

【一週間のライフスタイル (一例)】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →				← 休日 →	← 収穫・出荷 →
【普通期(4・10月)】	← 栽培管理 →				← 休日 →	



左から長男、父、本人



愛媛果試第28号

☆これからの夢や目指すもの☆

- 秀品率を上げること
- 作業の省力化をすること

年間労働時間の平滑化を図り、経営の体質強化を図っていきたいです。過去の記録を参考に、適期に作業することで、結果時間短縮につながっています。

☆メッセージ☆

作って、いいものであれば売れる。農業はやりがいがある。やればやっただけ返ってくる魅力のある仕事です。特に、愛媛果試第28号は、県内でも有数の産地であり、継続して品質の高いものを生産拡大するため、産地の気運を高めていきたいです。